

平成20年度

事業報告書

財団法人 東京都医学研究機構

目 次

ページ

I	研究事業	1
1	プロジェクト研究	1
(1)	都民・都政密着型プロジェクト群	1
(2)	都立病院連携型プロジェクト群	2
(3)	先端研究・産業連携型プロジェクト群	3
2	特別研究	4
(1)	がん・認知症対策	4
①	がん対策	4
②	認知症対策	4
(2)	新型インフルエンザ対策	4
3	受託研究・受託事業	5
(1)	受託研究	5
①	神経科学総合研究所	5
②	精神医学総合研究所	5
③	臨床医学総合研究所	6
(2)	受託事業	7
II	普及事業	8
1	普及活動	8
(1)	総括	8
(2)	本部事務局	8
(3)	神経科学総合研究所	9
(4)	精神医学総合研究所	10
(5)	臨床医学総合研究所	11
2	交流活動	12
(1)	総括	12
(2)	神経科学総合研究所	12
(3)	精神医学総合研究所	13
(4)	臨床医学総合研究所	13
3	産業界との連携活動	14

I 研究事業

1 プロジェクト研究： 28 課題

(1) 都民・都政密着型プロジェクト群： 8 課題

研 究 課 題	プロジェクトの 中心となる研究所 (プロジェクトリーダー)	開 始 年 度
SARS、C型肝炎ウイルス等感染症に対する 予防及び治療に関する研究	臨床医学総合研究所 (小原 道法)	16年度
神経ウイルス感染症の発症機序の解明と防御・ 治療法の開発	神経科学総合研究所 (小池 智)	17年度
花粉症等アレルギー疾患に対する予防及び治療 に関する研究	臨床医学総合研究所 (廣井 隆親)	18年度
大都市東京における心の健康危機管理	精神医学総合研究所 (飛鳥井 望)	16年度
児童思春期の心の健康増進に向けた研究	精神医学総合研究所 (西園 文)	17年度
睡眠障害の解明と治療法の開発	精神医学総合研究所 (本多 真)	17年度
学習・記憶機構とその障害に関する研究	神経科学総合研究所 (齊藤 実)	17年度
脊髄損傷による知覚・運動障害の治療法に関する 研究	神経科学総合研究所 (川野 仁)	17年度

(2) 都立病院連携型プロジェクト群： 13 課題

研 究 課 題	プロジェクトの 中心となる研究所 (プロジェクトリーダー)	開 始 年 度
サイトカイン産生制御によるアレルギー疾患の解析	臨床医学総合研究所 (宮武 昌一郎)	17年度
がん、生活習慣病及び遺伝病克服のための先端的医療支援(※1)	臨床医学総合研究所 (芝崎 太)	16年度
身体に負担が少ないがんの検査法と治療薬の開発(※2)	臨床医学総合研究所 (米川 博通)	17年度
ストレス性障害の病態と治療法に関する研究	精神医学総合研究所 (榛葉 俊一)	17年度
統合失調症回復のための研究	精神医学総合研究所 (糸川 昌成)	16年度
うつ病の病態解明と治療法の開発	精神医学総合研究所 (楯林 義孝)	17年度
パーキンソン病克服のための研究	神経科学総合研究所 (高田 昌彦)	16年度
ALSの病態解明と新規治療法・ケア技術開発を目指す集学的研究	神経科学総合研究所 (小柳 清光)	17年度
高齢社会における心の病の解明と治療法に関する研究(※3)	精神医学総合研究所 (秋山 治彦)	17年度
視機能障害を起こす神経変性疾患の発症機序解明と治療法に関する研究	神経科学総合研究所 (原田 高幸)	17年度
運動制御システムのしくみとその異常に関する研究	神経科学総合研究所 (徳野 博信)	17年度
難治性てんかんの新しい治療法の開発	神経科学総合研究所 (新井 信隆)	16年度
脳発達障害と高次脳機能障害の病態解明と機能回復に関する研究	神経科学総合研究所 (林 雅晴)	17年度

(3) 先端研究・産業連携型プロジェクト群： 7 課題

研 究 課 題	プロジェクトの 中心となる研究所 (プロジェクトリーダー)	開 始 年 度
多発性硬化症等神経難病の免疫療法の開発 (※4)	神経科学総合研究所 (松本 陽)	16年度
幹細胞を用いた再生医療技術の開発研究	臨床医学総合研究所 (原 孝彦)	16年度
ゲノムの動態解析と細胞機能の制御	臨床医学総合研究所 (正井 久雄)	17年度
筋ジストロフィー等カルパイン不全で発症する 疾病の解明	臨床医学総合研究所 (反町 洋之)	17年度
神経細胞情報伝達の機能失調と脳神経障害に関 する研究	神経科学総合研究所 (岡戸 晴生)	17年度
脳病変における分子動態と三次元構造変化に関 する研究	神経科学総合研究所 (内原 俊記)	17年度
細胞膜を介する情報伝達の解明	臨床医学総合研究所 (村上 誠)	17年度

※ ※1～※4の各プロジェクト研究には、「がん・認知症対策」特別研究として、東京都の「福祉・健康安心基金」等により実施する各研究課題（次ページ「2 特別研究」(1)）を含む。

2 特別研究： 5 課題

(1) がん・認知症対策： 4 課題

① がん対策： 2 課題

	研 究 課 題	中 心 と な る 研 究 所
※1	超高感度・同時多項目分析法（MUSTag法）を応用した早期診断法及び病勢診断法の開発	臨床医学総合研究所
※2	尿中ジアセチルスペルミンによる各種がんの早期診断法の開発	臨床医学総合研究所

② 認知症対策： 2 課題

	研 究 課 題	中 心 と な る 研 究 所
※3	認知症等の原因タンパク質TDP-43を標的とした治療薬及び検査法の開発	精神医学総合研究所
※4	アルツハイマー病に対する非ウイルス性DNAワクチン療法の開発	神経科学総合研究所

(2) 新型インフルエンザ対策： 1 課題

研 究 課 題	中 心 と な る 研 究 所
新型インフルエンザ対策に係る基礎研究 <ul style="list-style-type: none"> ・ 予防法の確立 ・ 迅速診断体制の確立 	臨床医学総合研究所

2 受託研究・受託事業 19課題、1事業

(1) 受託研究: 19課題

① 神経科学総合研究所: 6課題

研 究 課 題	研究代表者 氏 名
先端的遺伝子導入・改変技術による脳科学研究のための独創的霊長類モデルの開発と応用(細胞選択的遺伝子標的法による高次脳機能の解析と遺伝子治療法の開発)	高田 昌彦
在宅難病患者等訪問看護師養成研修事業	小倉 朗子
在宅難病患者通所サービス利用支援モデル事業における事業支援	小倉 朗子
ドーパミンによる行動の発達と組織化のメカニズムのシステムの解析	高田 昌彦
サルにおけるモデル作製及びパーキン遺伝子導入の有効性と安全性の検討	高田 昌彦
難病等在宅療養者における療養環境整備と地域ケアシステム	小倉 朗子

② 精神医学総合研究所: 4課題

研 究 課 題	研究代表者 氏 名
原爆体験による精神的影響等に関する研究	飛鳥井 望
統合失調症患者の死後脳のmRNAおよびタンパク質解析用サンプルの調整と解析、日本人統合失調症遺伝子研究の大規模共同研究グループJSSLGのサンプル収集の統括	糸川 昌成 岡崎 祐士
既存の情報通信システムを利用した周産期における新遠隔医療検査法の確立	西原 京子
BRL29060A(パロキセチン塩酸塩水和物)の外傷後ストレス障害(PTSD)に対する臨床評価	飛鳥井 望

③ 臨床医学総合研究所：9課題

研 究 課 題	研究代表者 氏 名
スギ花粉症における舌下減感作療法の臨床研究	廣井 隆親
巨大で複雑なタンパク質分解装置の動態と作動機構	田中 啓二
網羅的遺伝子改変マウス作製による蛋白質分解経路における新基盤の創出	田中 啓二
コレステロール合成酵素系及び新規抗HCV剤の標的宿主因子の同定と動物モデルを用いた評価に関する研究	小原 道法
抗原成分の腸管免疫細胞へのデリバリーと免疫反応	廣井 隆親
分泌性ホスホリパーゼA2群の分子種固有の機能の解明	村上 誠
オートファジーのダイナミクスと生理的意義の解析	小松 雅明
副作用の少ない高機能型ファブリー病治療薬の研究開発のうち改変型 α -N-アセチルグルコサミダーゼ(α -NAGA)の生産と精製方法の開発	田島 陽一 川島 育夫
血液細胞の電子顕微鏡観察像の取得	鈴木 英紀

※ その他、民間企業に対する技術指導等を実施した。

(2) 受託事業： 1事業

神経科学総合研究所・精神医学総合研究所

受 託 内 容 (委 託 元)
世界脳週間参加事業 講演会：「脳の病気と心の病気 — 新しい理解」 (NPO法人 脳の世紀推進会議)

Ⅱ 普及事業

1 普及活動

(1) 総括

事業	主な対象・配布先	発行部数・参加人員等
1 事業概要・年報等の発行	大学、研究機関、行政機関、病院、保健所、その他関係機関	1,860部
2 研究所ニュースの発行	一般都民、大学・研究機関、行政機関、病院、保健所、関係機関等	年6～7回 各500～1,500部 延15,850部
3 パンフレット・リーフレットの発行	一般都民、研究者、学生、病院、保健所、行政機関、その他関係者・関係機関	5,300部
4 機構・各研究所ホームページ	一般都民、研究者、医療・公衆衛生従事者等	年間
5 講演会等の開催	一般都民、研究者、学生、医療・公衆衛生従事者等	年11回 延3,164人
6 研修会等の開催	一般都民、学生、研究者、医療・公衆衛生従事者等	年10回 延151人

※その他、各研究所において、施設見学の受入を行った。

(2) 本部事務局

事業	主な対象・配布先	時期	発行部数・参加人員等
1 機構ホームページ	一般都民、研究者、医療・公衆衛生従事者等	年間	—
2 都民講演会の開催	主として一般都民	平成21年1月	421人

(3) 神経科学総合研究所

事業		主な対象・配布先	時期	発行部数・参加人員等
1	年報の発行	大学、研究機関、行政機関、病院、保健所、その他関係機関	平成20年10月	550部
2	神経研ニュースの発行	大学、研究機関、行政機関、病院、保健所、その他関係機関	年6回	各 500部 延3,000部
3	研究所紹介リーフレットの作成	一般都民、研究者、学生、病院、保健所、行政機関、その他関係者・関係機関	平成21年3月	3,000部
4	身近な医学研究情報冊子の作成	一般都民、学生、病院、その他関係者、関係機関	年間	100部
5	神経研ホームページ	一般都民、研究者、医療・公衆衛生従事者等	年間	———
6	科学技術週間参加行事 神経研都民講座の開催 (講演会)	主として一般都民	平成20年4月	212人
7	神経研夏のセミナーの開催	研究者、学生、医療・公衆衛生従事者等	平成20年6、7月 4回	延43人
8	世界脳週間参加行事 (講演会)	主として都内高校生	平成20年11月	精神研と 合同開催 (45人)

(4) 精神医学総合研究所

事業		主な対象・配布先	時期	発行部数・参加人員等
1	年報の発行	大学、研究機関、行政機関、病院、保健所、その他関係機関	平成20年10月	650部
2	精神研ニュースの発行	一般都民、行政機関、保健所、病院、研究機関、関係機関	年6回	各1,500部 延9,000部
3	研究所紹介パンフレットの作成	研究者、医師、学生、一般都民 病院、保健所、行政機関、 その他関係者・関係機関	平成20年9月	1,500部
4	精神研ホームページ	一般都民、研究者、 医療・公衆衛生従事者等	年間	—————
5	精神研都民講座の開催 (講演会)	主として一般都民	6、7、9、10、 11、1月 6回	延2,285人
6	科学技術週間参加行事 精神研春季公開講座の開催 (講演会・施設公開)	主として一般都民	平成20年4月	講演 37人 公開 5人
7	世界脳週間参加行事 (講演会)	主として都内高校生	平成20年11月	45人

(5) 臨床医学総合研究所

事	業	主な対象・配布先	時 期	発行部数・ 参加人員等
1	年報の発行	大学、研究機関、行政機関、 病院、保健所、その他関係機関	平成20年9月	500部
2	研究報告集の発行	大学、研究機関、行政機関、 病院、保健所、その他関係機関	平成21年2月	160部
3	臨床研ニュースの発行	大学、研究機関、行政機関、 病院、保健所、その他関係機関	年6回、 平成21年3月 (業績集)	各 550部 延 3,850部
4	研究所紹介パンフレットの作成	大学、研究機関、行政機関、 病院、保健所、その他関係機関	平成20年10月	700部
5	臨床研ホームページ	一般都民、研究者、 医療・公衆衛生従事者等	年 間	———
6	科学技術週間参加行事 公開講演会の開催 (講演会・施設公開)	主として一般都民	平成20年4月	159人
7	臨床研カレッジの開催	主として一般都民 (講師： 6人)	平成20年7月 6 回	延 108人

2 交流活動

(1) 総 括

事 業	主 な 対 象	発行部数・参加人員等
1 シンポジウム・セミナー等の開催	研究者、医療・公衆衛生従事者等	年50回 延2,247人
2 外部研究員等の受入れ	大学、研究機関、都立病院等の共同研究者、研究補助員等	318人
3 研究生等の受入れ	大学、研究機関等	200人
4 大学との連携・研究交流（連携大学院）	首都大学東京外	客員教員 30人 受入学生 34人

(2) 神経科学総合研究所

事 業	主 な 対 象	時 期	発行部数・参加人員等
1 神経研シンポジウムの開催	研究者、学生、医療・公衆衛生従事者等	平成20年10月	167人
2 神経科学セミナーの開催	研究者、医療・公衆衛生従事者等	年21回	延1,024人
3 多摩キャンパス 神経カンファランス	府中キャンパス内等医療従事者	年2回	延59人
4 (独)日本学術振興会 研究員等の受入れ	(独)日本学術振興会 (独)科学技術振興機構	年 間	3人
5 客員研究員等の受入れ	大学、研究機関等の共同研究者	年 間	117人
6 研究生の受入れ	大学、研究機関等	年 間	32人
7 大学との連携・研究交流（連携大学院）	首都大学東京、東邦大学 外	年 間	客員教員 8人 受入学生 5人

(3) 精神医学総合研究所

	事業	主な対象	時期	発行部数・参加人員等
1	精神研シンポジウムの開催	研究者、医療従事者等	平成20年10月	273人
2	精神研セミナーの開催	研究者、医療従事者等	年10回	延294人
3	(財)日本公定書協会 研究員等の受入れ	(財)日本公定書協会 (独)科学技術振興機構	年間	2人
4	客員研究員等の受入れ	大学、研究機関等の研究者 都立病院等の医師等	年間	67人
5	研究生の受入れ	大学、研究機関等	年間	111人
6	大学との連携・研究交流 (連携大学院)	首都大学東京	年間	客員教員1人 受入学生4人

(4) 臨床医学総合研究所

	事業	主な対象	時期	発行部数・参加人員等
1	各種セミナーの開催	研究者、医療従事者等	年15回	延430人
2	(独)日本学術振興会 研究員等の受入れ	(独)日本学術振興会 (独)科学技術振興機構	年間	3人
3	客員研究員等の受入れ	大学及び研究機関の研究者	年間	126人
4	研修生の受入れ	大学院生等	年間	45人
5	大学との連携・研究交流 (連携大学院)	筑波大学、お茶の水女子大学 首都大学東京、東京理科大学外	年間	客員教員21人 受入学生25人
6	東京大学教養学部自由研究 ゼミナール「生命科学の 現在」の受入れ	東京大学教養学部学生	平成20年6、12月	12人

3 産業界との連携活動

事業	主な対象	時期	発行部数・参加人員等
1 研究成果の特許化、実施	バイオ・医療系ベンチャー企業、製薬企業、医療機器関連企業	年間	特許出願件数 (日本国内のみ) 12件
2 医療研究開発及び産業連携等連絡会議の開催	製薬企業団体及び中小企業振興・育成団体	平成20年12月	15人
3 研究交流フォーラムの開催	バイオ・医療系ベンチャー企業、製薬企業	平成21年1月	115人
4 研究シーズ集の作成	バイオ・医療系ベンチャー企業、製薬企業	年間	機構ホームページに掲載